

くろつち会便り 川内原発再稼働阻止

今が正念場 9月28日

川内原発再稼働阻止に向けた集会に全国から集まり、7500人の人で天文館公園を埋め尽くしました。わが「くろつち会」からも、多くの仲間が参加しました。



遠島県議他、様々な方々のスピーチの後はデモ。何せ7500人もの大集団ですので、出発の番が来るまで数十分も待たされました。(左:出発を待つ肝属の仲間/下:中央駅までデモ行進)



中央駅まで、いつもは30分のところを2時間かかったのデモ。市民へのアピール効果は十分にあったと思います。

(ノーベル物理学賞で注目されたLED。全照明をLEDに変えたら、原発13基分、或いは26基分とかの節電効果があると巷で言われています。その点からも原発は不要です。)



我が人生

平原 昭彦



静かでゆっくりではあっても、己の足もとを見詰め、一歩いっぽ着実に人生の最終に向かって前進している。時には、さんさんと照り輝くあの太陽のように力強く情熱的に、ある時は、余すところなく生物を温かく優しく愛情をもって育ててきた地熱のように燃え続ける。

また、己に厳しく、あくところなく真実を追究し、自分を取り巻く全ての人々のために積極的に汗を流し、共に苦しみ、悲しみ、慰め喜び合い、涙を流し合える人生でありたいと心に念じている。自分でできる範囲で行動もしている。

人間一人ひとは実に弱い。長い人生には、多くの苦しみ、悲しみ、悩みがあり、今後も必ず待ち受けているだろう。これらを克服する逞しさが求められる。

「自分の精神的弱さに負けてたまるか、世の

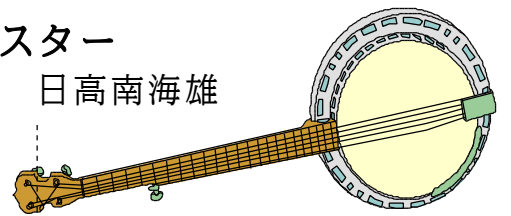
さまざまな誘惑に引き込まれるな、エゴに流されるな、すべてのことに勇気と自信をもって対処せよ」と自分自身に叫びたい。

世の中で一番尊いのは「人の生命であり幸せ」である。この生命の尊厳と幸せを得る前提条件は、平和なのだ。ひとしく恐怖と欠乏のない世界である。

安倍政権は、国民世論を無視した政策を押し進めている。原発再稼働しかり、秘密保護法しかり、集団的自衛権しかり、等々。

地上に再び戦争による惨禍がないよう、常に先頭に立ち勇気ある行動をすることが、今世紀に生きる者の責務であると自覚したい。

以上述べたように、真に人間らしく生きたという証しを確かめながら、死に際して「あ〜、己の人生は最良だった。何も云うことなし、満足だ」と胸を張って回顧できる人生でありたい。



アメリカが独立宣言をしてちょうど 50 年目の 1826 年の独立記念日に、東部の工業都市ピッツバーグで「オギャー」という赤ん坊の泣き声が響きました。声の主はフォスターでした。

建国間もない当時のアメリカには、ヨーロッパのような音楽はありませんでしたが、多くの兄・姉、教師から音楽の基礎を学びました。

13 歳の時に作ったフルートのための曲が処女作となっています。男の子なのに処女作とはこれいかに？

この後、多くの歌を作っていますが、フォスターも若い時分は、めまぐるしく変わっていく世の中の動きに翻弄されます。

フォスター 20 歳の年に、メキシコに属していたテキサス州が強引にアメリカと合併したためメキシコとの戦争が始まり、結局メキシコはテキサスはもちろん、隣のニ

ューメキシコと日本より広い土地のカリフォルニアまで、アメリカに取られてしまいました。しかも、2 年間の戦争の後、このカリフォルニアで金鉱が発見され、いわゆるゴールドラッシュが始まりました。

この 21 世紀になっても東洋の東の果てには、170 年も前の戦好きアメリカを真似して、戦争をしたがる人がいますね。この人は法外な殺戮を繰

り返す某国の首相がふさわしいのです。

さて、フォスターの初期の作品でよく知られているのは「オオスザンナ」でしょう。

♪私やアラバマからルイジアナへ
バンジョー持って出かけたところですよ
降るかと思えば 日照り続き
旅はつらいけど 泣くのじゃない
おお スザンナ 泣くのじゃない
バンジョー持って出かけたところですよ

軽快なリズムに乗った明るいこの歌は、多くの人に支持されて広まりました。さらに、作られたのがちょうど金鉱が発見された年で、歌詞の「ルイジアナへ」を「カリフォルニアへ」と行く先を替えて歌われ、西へ西へと一攫千金を夢見る人々の愛唱歌になりました。

ところで、この時期にアメリカ東部の町で流行っていたのは、「 minstrel」といって、白人たちが焦がしたコルクで顔を黒く塗り、面白おかしく踊るショーの音楽でした。黒人に対する優越感を表した内容です。若きフォスターも一時はこの音楽に手を染め、上記の歌や「草競馬」「バンジョーをかき鳴らせ」など作りましたが、次第に黒人たちの思いを取り入れた歌を作るようになりました。どんな歌でしょう？

ましまが行く 10月4日、毎年恒例の社民党主催の「感謝のつどい」が寿七丁目公民館でありました。



*「ましま通信」(No.7)が発行されました。

- これからのこと (^^)
- 10月26~27日 くろつち旅行
- 11月4~7日 くろつち会作品展
だいわ1階フロア
- 11月7日(金) 脱原発集会・デモ
17:30 イベント広場

編集後記
またどじってしまいました。前号に渡辺先生の「八重山教科書問題について」を掲載しましたが、<是正要求拒否、竹富町の判断こそ正当だ>とすべきところを、「是正供給」となっていました。申し訳ありませんでした。

※台風は、この大隅では幸いにも大したことがなかったように思いますが、みなさんのお宅はどうだったでしょうか。